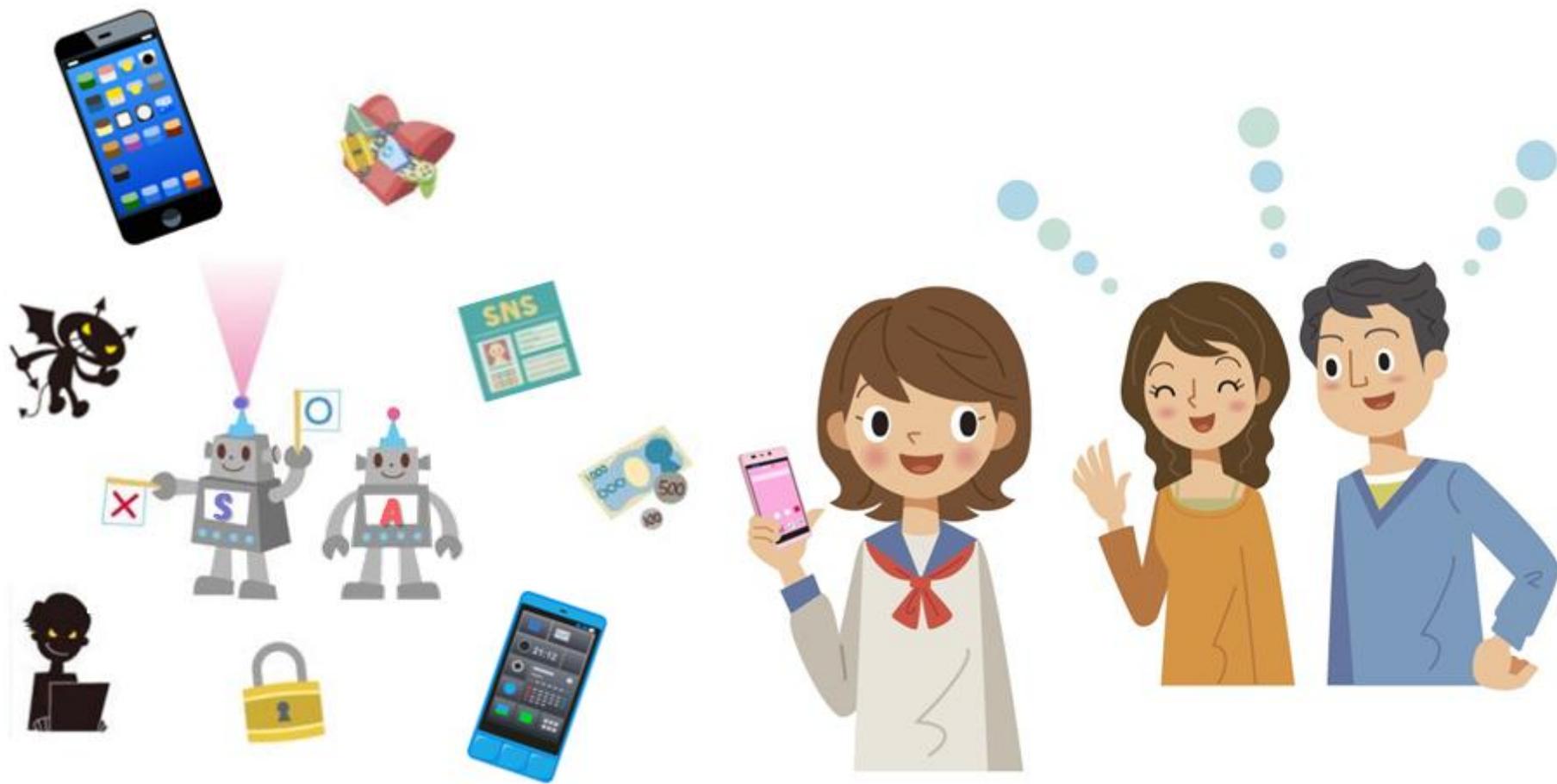


保護者のための インターネットセーフティガイド

～スマートフォンの安全利用と家庭教育のヒント～

Ver1.02



- 本教材は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機と多様化していくインターネット機器を安全に利用するための保護者啓発教育用教材です。
- 「保護者のためのインターネットセーフティガイド」シリーズは、他にも小中学生のお子さんを持つ保護者向け、中高生のお子さんを持つ保護者向けなどを提供しています。受講者属性や講座の意図に合わせて組み合わせてご利用ください。
- 子どもネット研の教材は、どなたでも自由に保護者向け教育啓発にご利用いただくことが可能です。但し、出典または参考資料として「子どもたちのインターネット利用について考える研究会」の名称を明記いただくようお願いいたします。
- 本教材、研究会へのお問い合わせは、子どもネット研ホームページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。<http://www.child-safenet.jp/>

1. 子どもたちの利用実態とトラブル
2. スマートフォンの普及とインターネット接続機器の変化
3. スマートフォンの特徴と課題
4. スマートフォン時代のフィルタリング
5. 「インターネット」の4つの誤解とネット社会の3原則
6. 理想的なネットデビューとフィルタリング
7. 保護者に期待される役割
8. まとめ

子どもたちの利用実態とトラブル



1. 子どもたちの利用実態とトラブル

子どもたちの基本的な利用スタイル

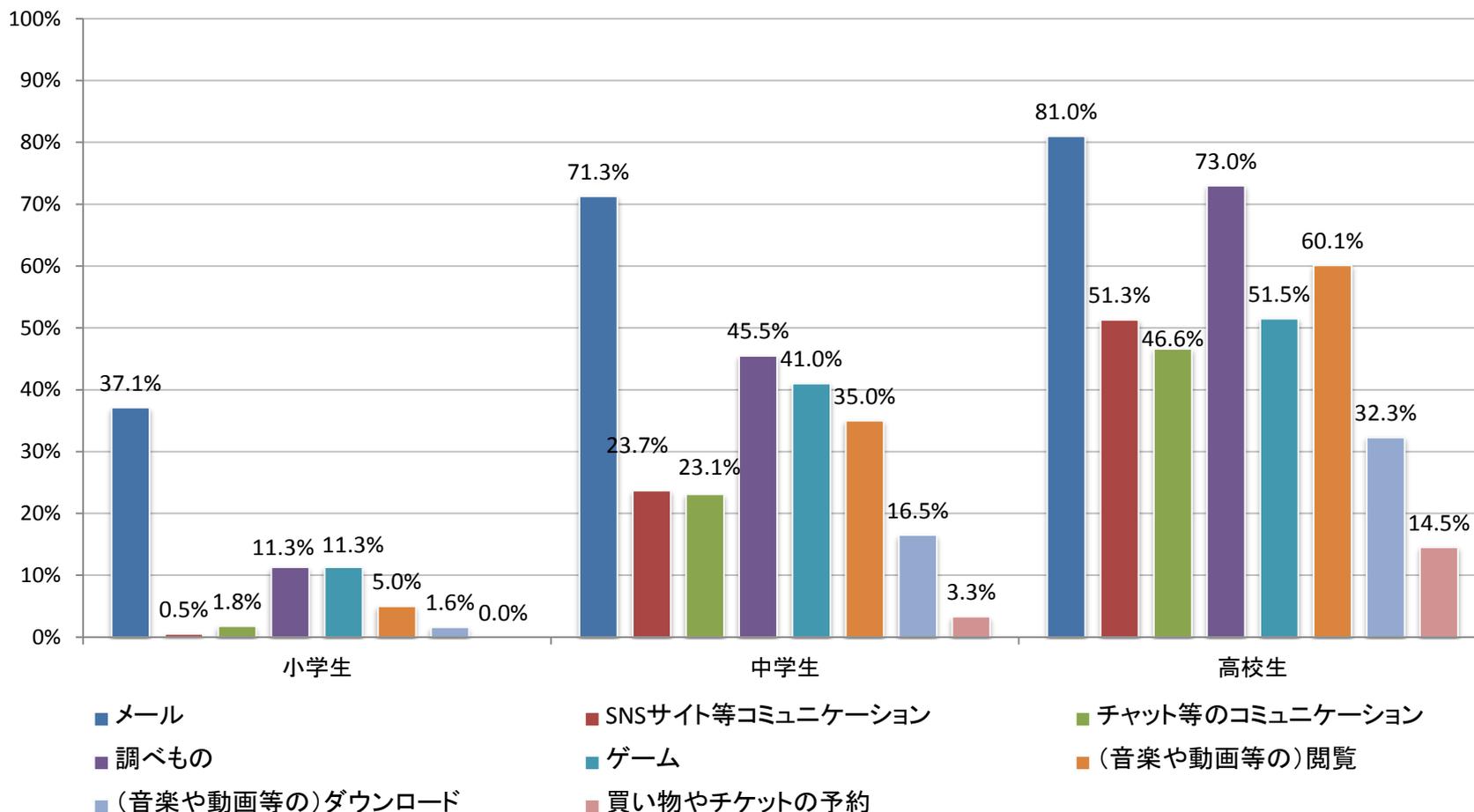
- **友だちとの連絡手段は通話よりメール**
携帯やスマホは通話のための端末ではない
- **インターネットやメールは携帯やスマホから**
「自分専用」のパーソナル性の高い機器をよく利用
- **隙間時間にブログやSNSを閲覧、更新**
友達と「常につながっていたい」欲求が高い傾向に

子どもたちの使い方は発信型・参加型
(受信型・閲覧型の大人とは正反対)



1. 子どもたちの利用実態とトラブル

青少年の携帯電話・スマートフォンでのインターネット利用状況



昨年に引き続きメールと調べものが多いが、チャット等のコミュニケーションやゲーム、(音楽や動画等の)閲覧が増加

1. 子どもたちの利用実態とトラブル

ゲーム・コミュニケーションサイト

概要

- 18歳未満の子どもの半数以上が登録・利用経験あり
- 無料ゲームやアバターの着せ替えが楽しめる
- 利用者間でメールのやりとりが可

問題点

- 過剰にはまりやすい(依存性)
- 年齢が詐称できる
- 実際に殺人事件が発生した例も



1. 子どもたちの利用実態とトラブル

コミュニケーションサイト(双方向利用型サイト)の構造



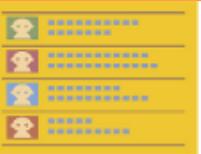
ゲーム
アバター

一部のゲーム用アイテムはポイントで購入するものも。
アバターとはサービス内の自分の分身。きせかえが可能



サークル
コミュニティ

あるテーマのもとにユーザーが行うスペース。掲示板の集合体。



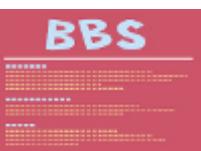
ミニメール

サービス内で利用できる私信箱。知らない相手とサービス内でダイレクトコンタクトをとることが可能。



日記

Web上の日記帳。最近では「ブログ」と呼ばれることも多い。交流サイト(SNS)の大半がプロフィールサイト(プロフィールカードで行われていた自己紹介がデジタル化。



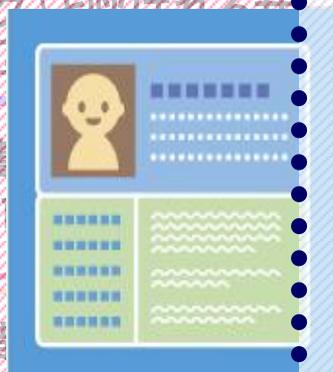
掲示板



自己紹介

交流サイト
(SNS)

プロフィール
(プロフィールサイト)



1. 子どもたちの利用実態とトラブル



メッセージ・通話アプリ

概要

- 手軽に文字や画像で会話が可能
- インターネットを利用した無料通話がユーザー間で楽しめる

問題点

- アドレス帳をデータを使った、友達リスト作成への不安感
- 人気サービスに便乗した、非公認な出会い系サービスの増加

1. 子どもたちの利用実態とトラブル

子どもたちの欲求とサービスの特徴



子どもたちの欲求

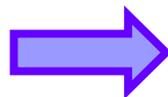
暇つぶしをしたい

友だちの多さを自慢したい

異性への興味関心が高い

背伸びをして度胸を示したい

自由になるお金が欲しい



サービスの特徴



ゲーム性が高い



未知の友だちと交流できる



異性と交流できる



危険な香りがする



無料である、仮想通貨を稼げる

1. 子どもたちの利用実態とトラブル

男子と女子のトラブル傾向



男子に多いトラブル

- 腕試しやイタズラ心によるネット犯罪
- ネット上での誇示誇張発言によるトラブル
- サイト上での詐欺被害



女子に多いトラブル

- 生命・身体にかかわる被害
- コンサートチケットやファッショングッズの売買トラブル
- ネット上でのコミュニケーショントラブル



1. 子どもたちの利用実態とトラブル

保護者にとって気付きやすい問題

- **依存性**
睡眠不足などの生活習慣の乱れ
- **ネット上での詐欺被害**
架空請求詐欺や高額請求
- **不適切情報の利用**
有害図書的内容への接触

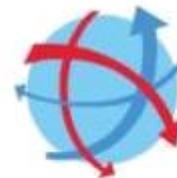
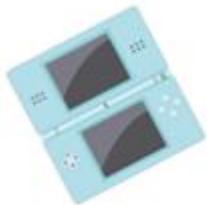


保護者にとって気付きにくい問題

- **悪意のある大人による「誘い出し」**
性犯罪被害
- **不適切な発信**
不用意な書き込み、ネットいじめ



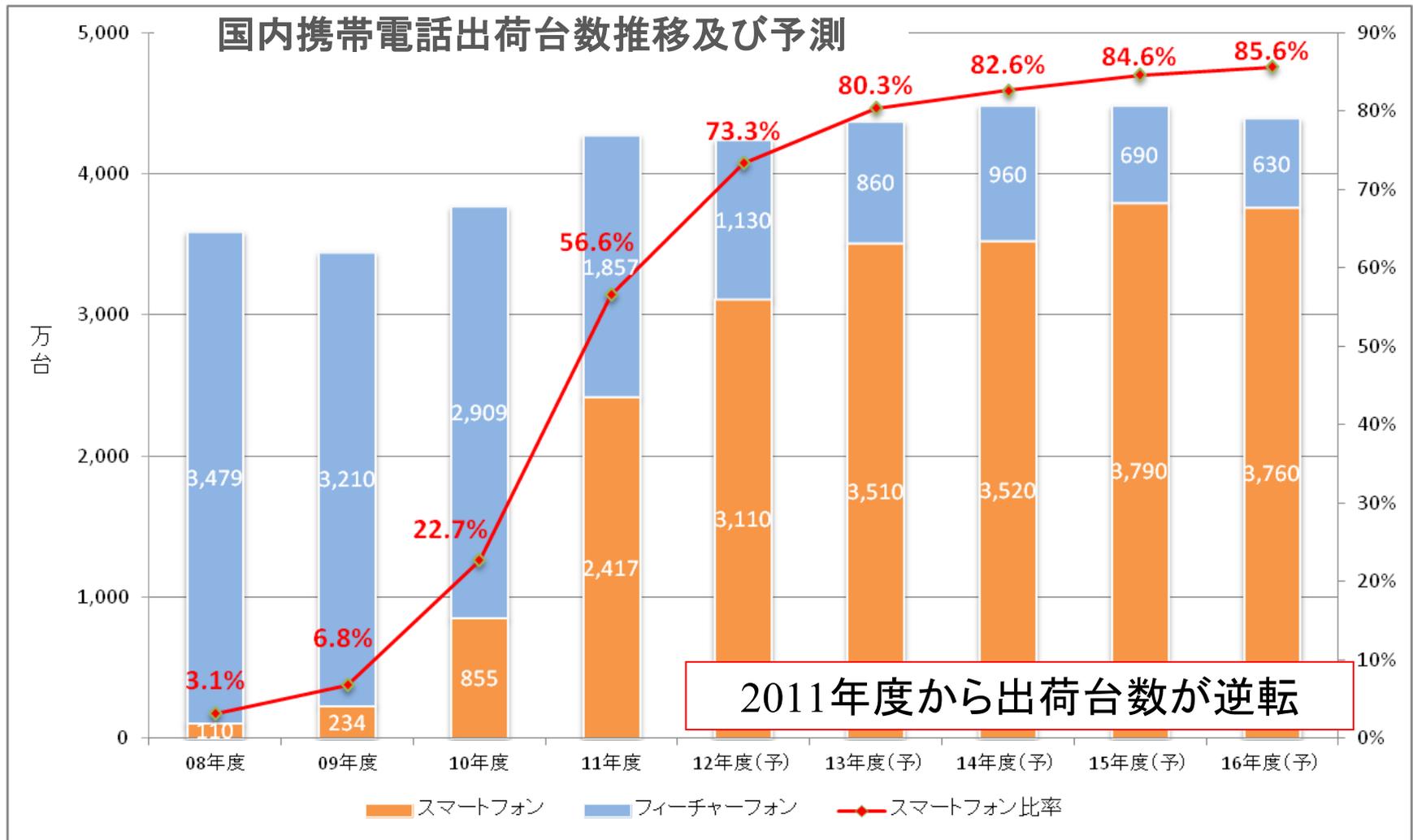
スマートフォンの普及と インターネット接続機器の変化



2. スマートフォンの普及とインターネット接続機器の変化

子どもたちのインターネット利用について考える研究会

スマートフォンの普及状況



※MM総研調べ「2012年度上期国内携帯電話端末出荷概況」2012/11/1

※PHS/タブレット端末/データ通信カード/通信モジュールは含まない

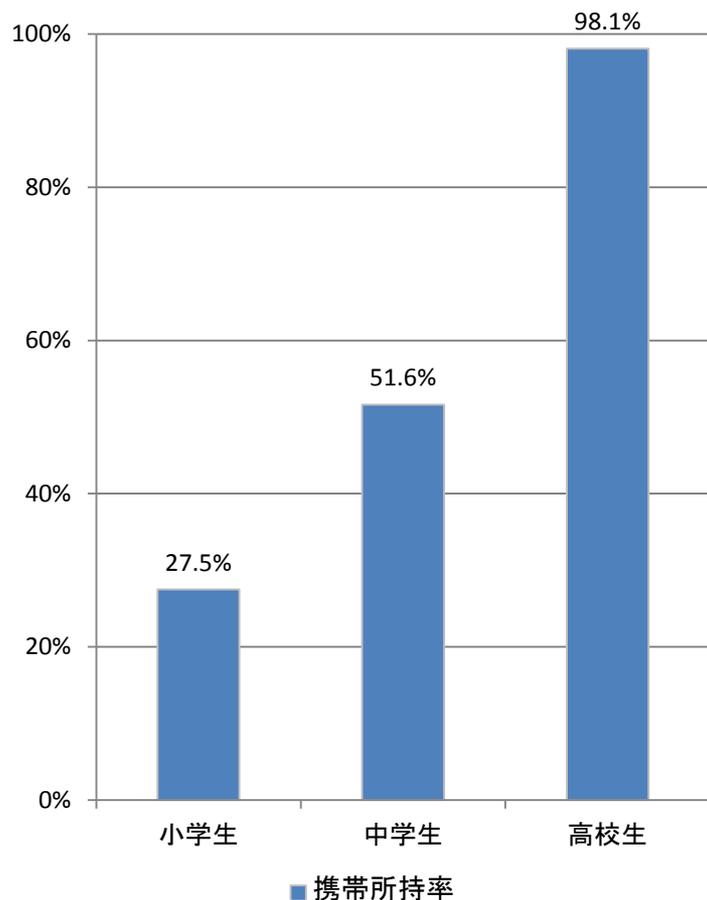
(株)MM総研調べ「2012年度上期国内携帯電話出荷概況」(2012/11/1)

2. スマートフォンの普及とインターネット接続機器の変化

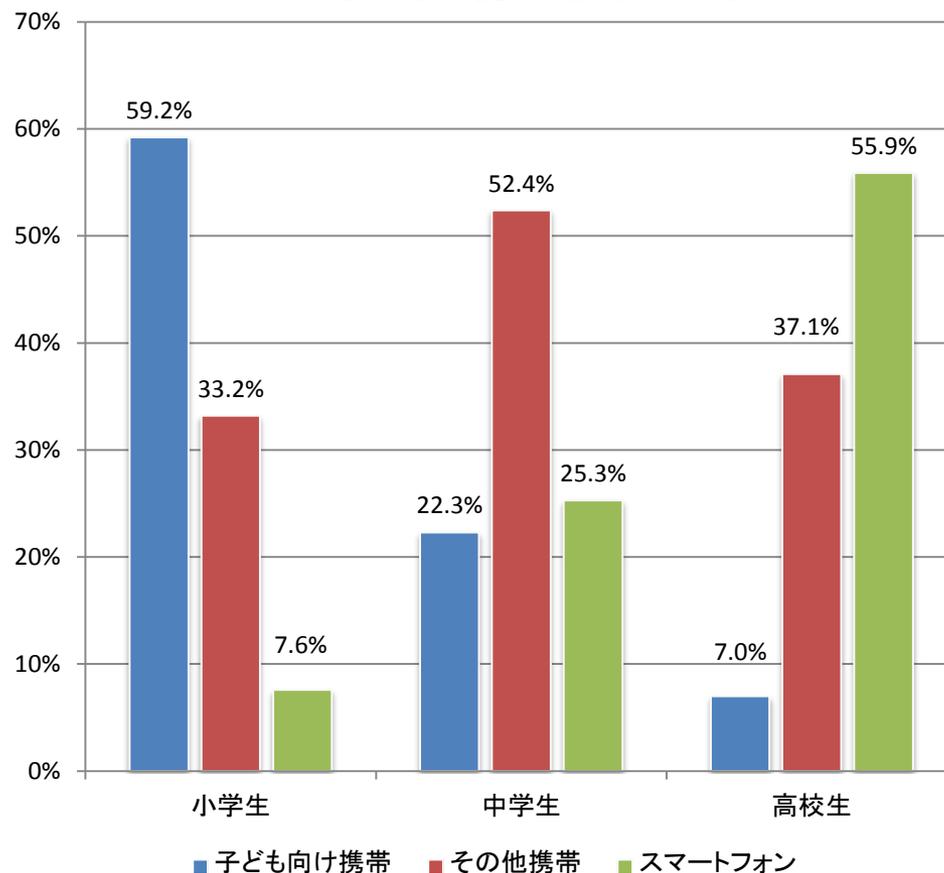
子どもたちのインターネット利用について考える研究会

青少年の所有状況

青少年の携帯電話所持率

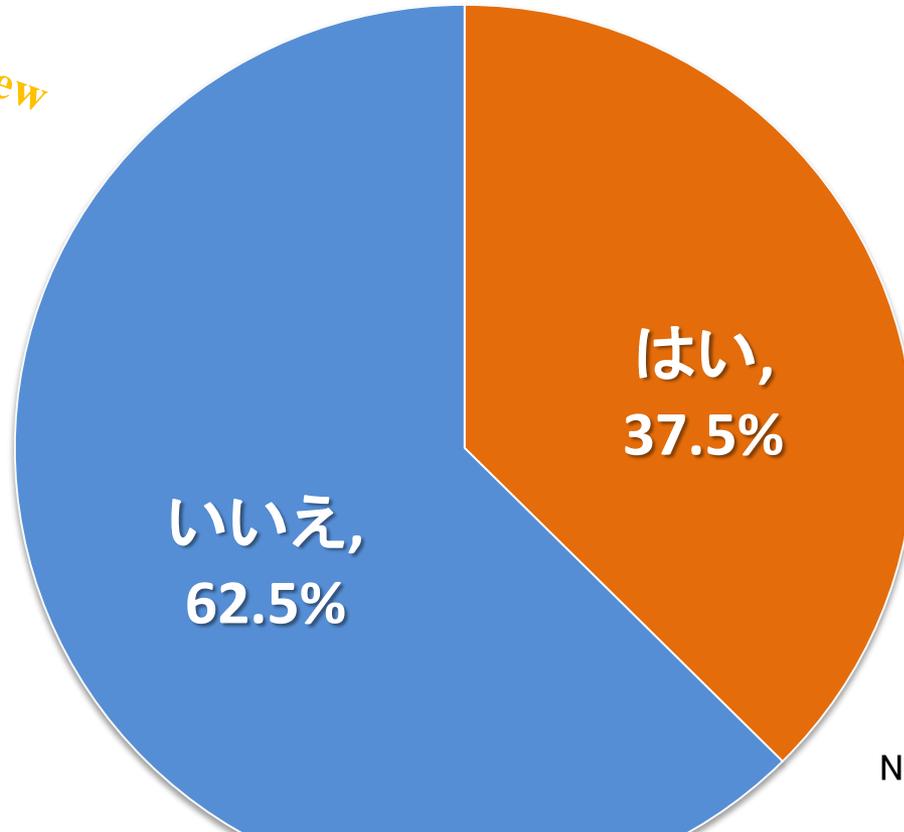


青少年の携帯電話所有機種



青少年の所有状況

Q.現在、お子さんに持たせているスマートフォンは初めて持たせた機器ですか？



スマートフォンを持っている子どもの3割が「初めての携帯」＝「スマートフォン」、「スマホネイティブ」の時代に

「イマドキ」の子どもたちのインターネット機器

ご存じですか？ どれもインターネット機器です



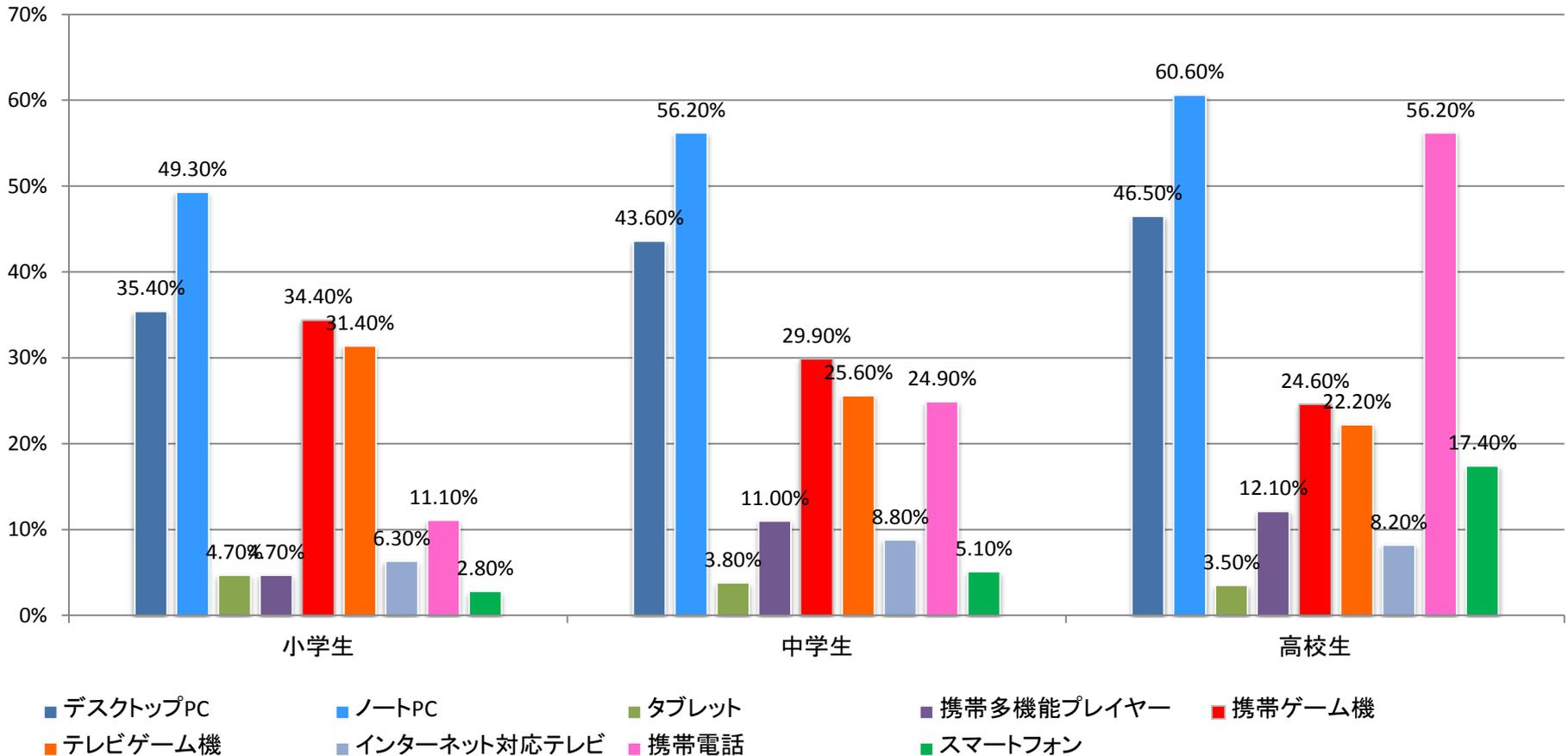
購入時にインターネット接続を想定していなかった「隠れインターネット機器」の増加と、無線LAN、Wi-Fiの普及で子どもたちの利用方法が大きく変化しています

2. スマートフォンの普及とインターネット接続機器の変化

子どもたちのインターネット利用について考える研究会

青少年の利用状況

所有している機器を使ったインターネットの利用状況



パソコンに次いで、ゲーム機や携帯電話からのネット利用が多い

2. スマートフォンの普及とインターネット接続機器の変化

子どもたちのインターネット利用について考える研究会

「イマドキ」の子どもたちのインターネット機器

携帯電話・スマートフォン
携帯音楽プレーヤー

- 学校や家庭で -
パソコン、タブレット
携帯、スマホ
携帯型ゲーム機

- 家族と一緒に -
パソコン、タブレット
携帯型ゲーム機



中学生～高校生



小学生～

子どもたちのネット端末は学齢に応じて変化していきます
買い与える際にフィルタリング対策やルール決めが必要です

就学前～



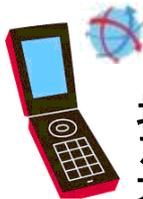
スマートフォンの特徴と課題



3. スマートフォンの特徴と課題

スマートフォンって？

携帯電話



携帯性が高い(コンパクト)
通話が可能

パソコン



高性能
拡張性が高い

スマートフォン



携帯性が高い(コンパクト)
通話が可能

高性能
拡張性が高い(アプリによって機能追加が容易)

操作性が高い(タッチパネル)
通信機能向上(携帯電話回線網に加えてWi-Fiも利用可)

3. スマートフォンの特徴と課題

スマホの「アプリ」って？

- パソコンは「ソフト」をインストール



- スマートフォンは「アプリ」をインストール



パソコンやスマホでは、機能を追加するために
応用ソフト「アプリケーションソフト」をインストールします



アプリ(アプリケーションソフト)

概要

- スマートフォンやタブレットに機能を追加するための「応用ソフトウェア」
- 誰でも開発、提供が可能、一部のOSでは公式マーケット以外でも提供可

問題点

- 一定の審査はあるものの、誰でも提供可能なため、中には情報を抜き取ったりする悪質なアプリも
- アプリから直接インターネットにアクセスできるため、フィルタリングの抜け道になるケースも

3. スマートフォンの特徴と課題

スマートフォンを取り巻く関係者



□ 通信事業者

スマートフォンを販売、接続回線を提供

□ アプリマーケット 運営者

アプリ紹介サイト
Androidアプリの場合は公式マーケット以外でもダウンロード提供可



□ 公式アプリ マーケット運営者

App Store、GooglePlayストア
アプリの審査や課金販売を行う



□ 端末開発事業者

スマートフォンは国際規格のため
これまでの携帯電話と異なり
日本企業だけではなく海外企業も多い



□ アプリ開発者

スマートフォンのアプリは、
だれでも開発、提供することが可能

□ 広告配信事業者

アプリ内で掲載される広告を
配信、利用者情報をアプリから取得し
マーケティングに利用する場合も



□ サイト運営者

アプリで利用するサービスを運営
独自にアプリを開発したり、開発者に
依頼をして提供だけを行うケースも

3. スマートフォンの特徴と課題

スマートフォンが取り扱う情報

□ Web利用履歴

サイト閲覧、ログイン情報、SNS利用等



□ 契約者情報

端末固有ID、基本情報
メールアドレス、電話番号

□ 位置情報

GPS機能を内蔵し、利用者の位置
情報を取得可能
高性能のカメラを有し、写真や動画
データ内にも位置情報を記録可能



□ 決済情報

クレジットカード情報



□ システム情報

OS (iOS、Android) のバージョン



□ 個人情報

電話帳に登録した連絡先情報



□ アプリ利用履歴

アプリの利用履歴、操作状況



□ 通信履歴

通話履歴、メール情報
送受信履歴

スマートフォンの注意点

- パソコン同様にセキュリティ対策が必要
 - ・OS (iOS、Android) と呼ばれる、基本ソフトの更新が必要
 - ・アプリによるウイルス感染の可能性も

- アプリのインストール時には信頼性の確認が必要
 - ・ある程度の知識があれば、誰でも開発・公開が可能
 - 公式マーケット (App Store、GooglePlayストア) 等、アプリ審査を行っているサイトからの評価情報を入手、ダウンロードを心がける

 - ・アプリが取得する、収集する情報の妥当性
 - アプリのダウンロード時に表示される利用許諾画面から、アプリが利用しようとする権限 (取得情報) を確認する



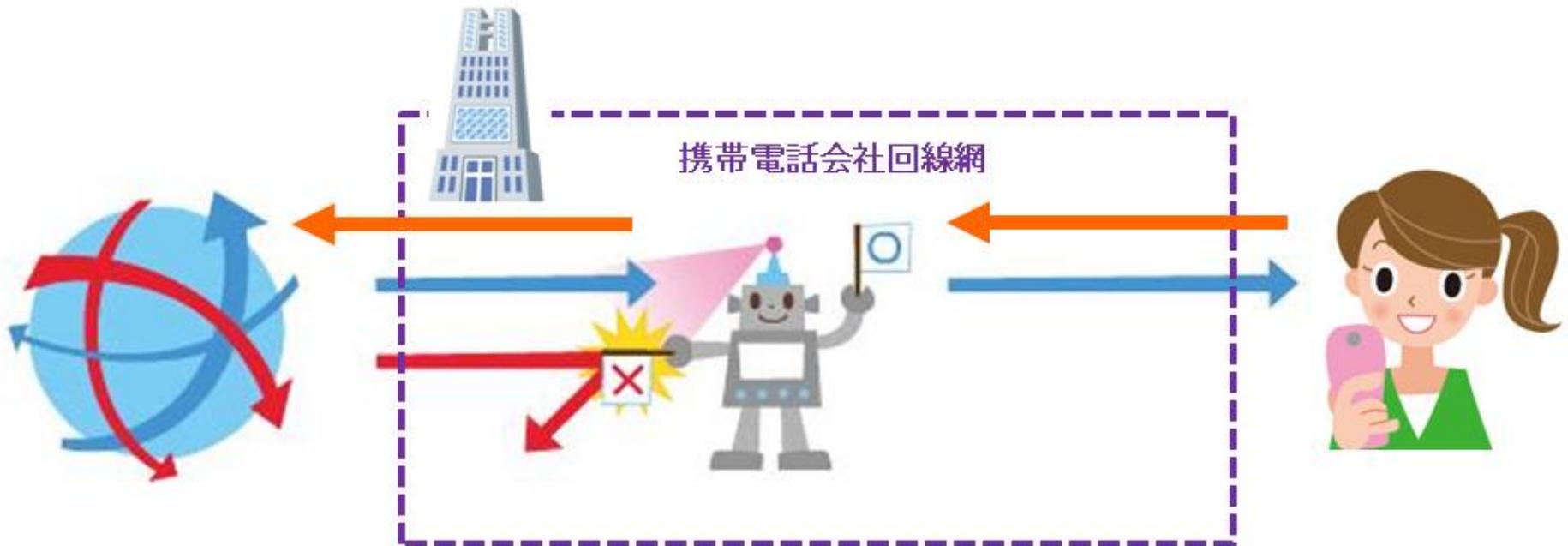
スマートフォン時代のフィルタリング



4. スマートフォン時代のフィルタリング



これまでの携帯フィルタリング

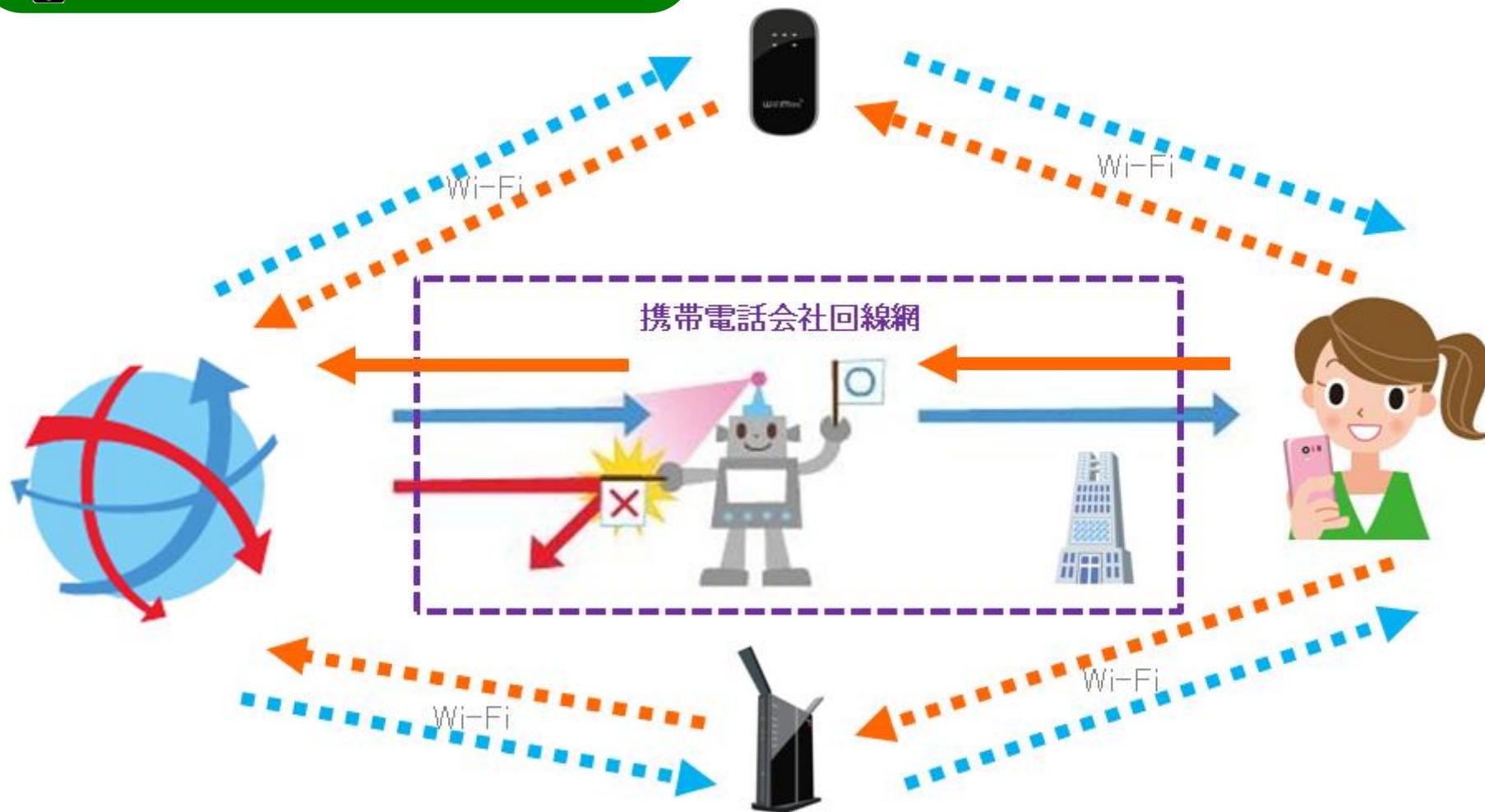


携帯電話からのインターネット接続経路は、殆どが携帯電話会社の回線を利用しており、一元管理が比較的容易に行えていました

4. スマートフォン時代のフィルタリング



スマートフォンのフィルタリング



接続経路が無数にあり、途中経路での管理は困難な状況に

4. スマートフォン時代のフィルタリング

無料で利用できる接続環境の増加

家庭・企業等の
無線LAN

パスワード設定無



駅



コンビニ



ファミレス



ショッピングモール



商店街



ファストフード

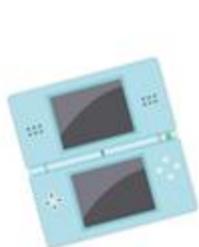


家庭・企業等無線LAN

パスワード設定有



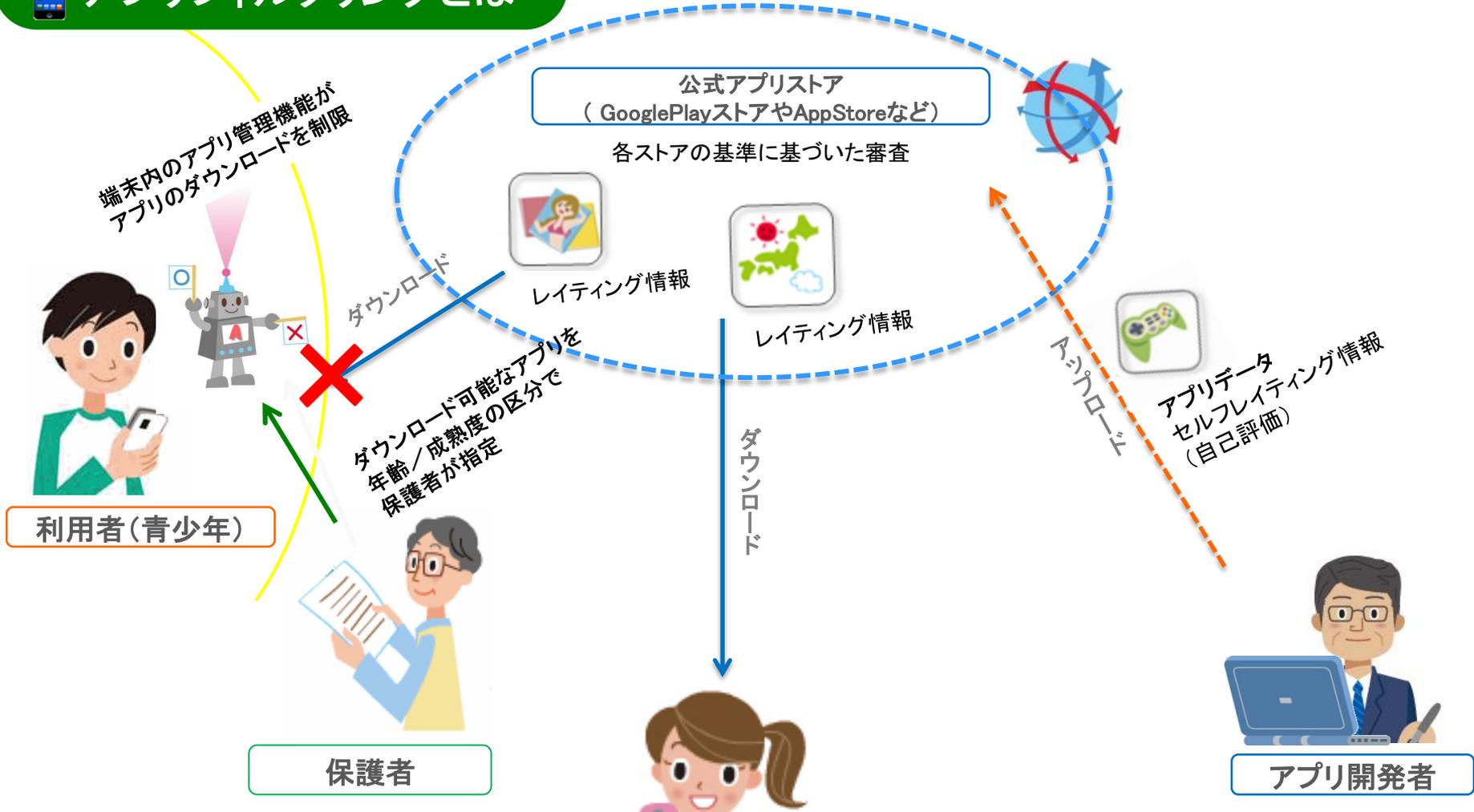
ファストフードやコンビニ、カフェ、ファミレスなど
無料のWi-Fi接続サービスが急増しています



4. スマートフォン時代のフィルタリング



アプリフィルタリングとは

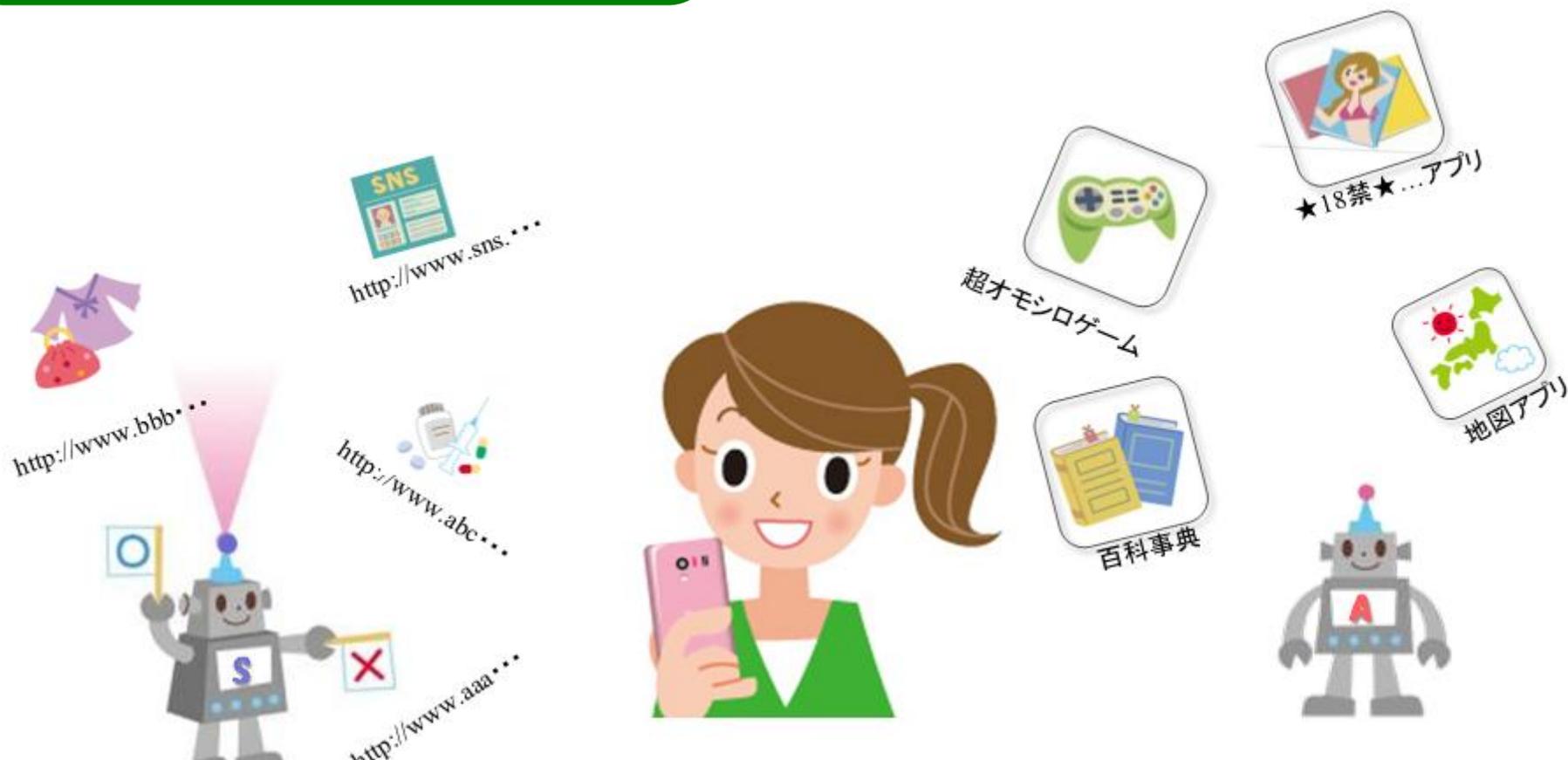


保護者の決めたルールに従い、アプリのダウンロードや起動を制限します

4. スマートフォン時代のフィルタリング



スマートフォンのフィルタリング



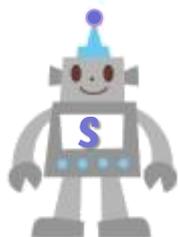
スマートフォンは、ブラウザでアクセスするサイトを管理する、「サイトフィルタリング」とともに、アプリの管理を行う「アプリフィルタリング」を組み合わせ設定することが重要です

4. スマートフォン時代のフィルタリング



スマートフォンのフィルタリング

サイトフィルタリング



- ◆ ジャンル別の規制解除や規制追加が可能
- ◆ 特定のサイトやその一部分の閲覧許可や、制限が可能
- ◆ 利用者のレベルに合わせて制限レベル変更可能

アプリフィルタリング



- ◆ スマートフォン内のアプリの起動を、学齢目安や個別指定で制限
- ◆ サイトフィルタリングの抜け道となるアプリの利用を制限

OS上での制限機能



制限例)

- ◆ インターネットの利用やWi-Fi接続利用を制限
- ◆ 有料アプリの購入などを制限
- ◆ 位置情報などの各機能を制限
- ◆ ダウンロードできるアプリを年齢や成熟度で制限



4. スマートフォン時代のフィルタリング

子どもに利用させる際の注意点



□ 通信料金

ネットを利用させない場合でも、システムが通信、更新を行うため、通信料金が発生
パケット料金の高額請求を防ぐためにも定額プランを上手に利用しましょう

□ 利用サービスの管理

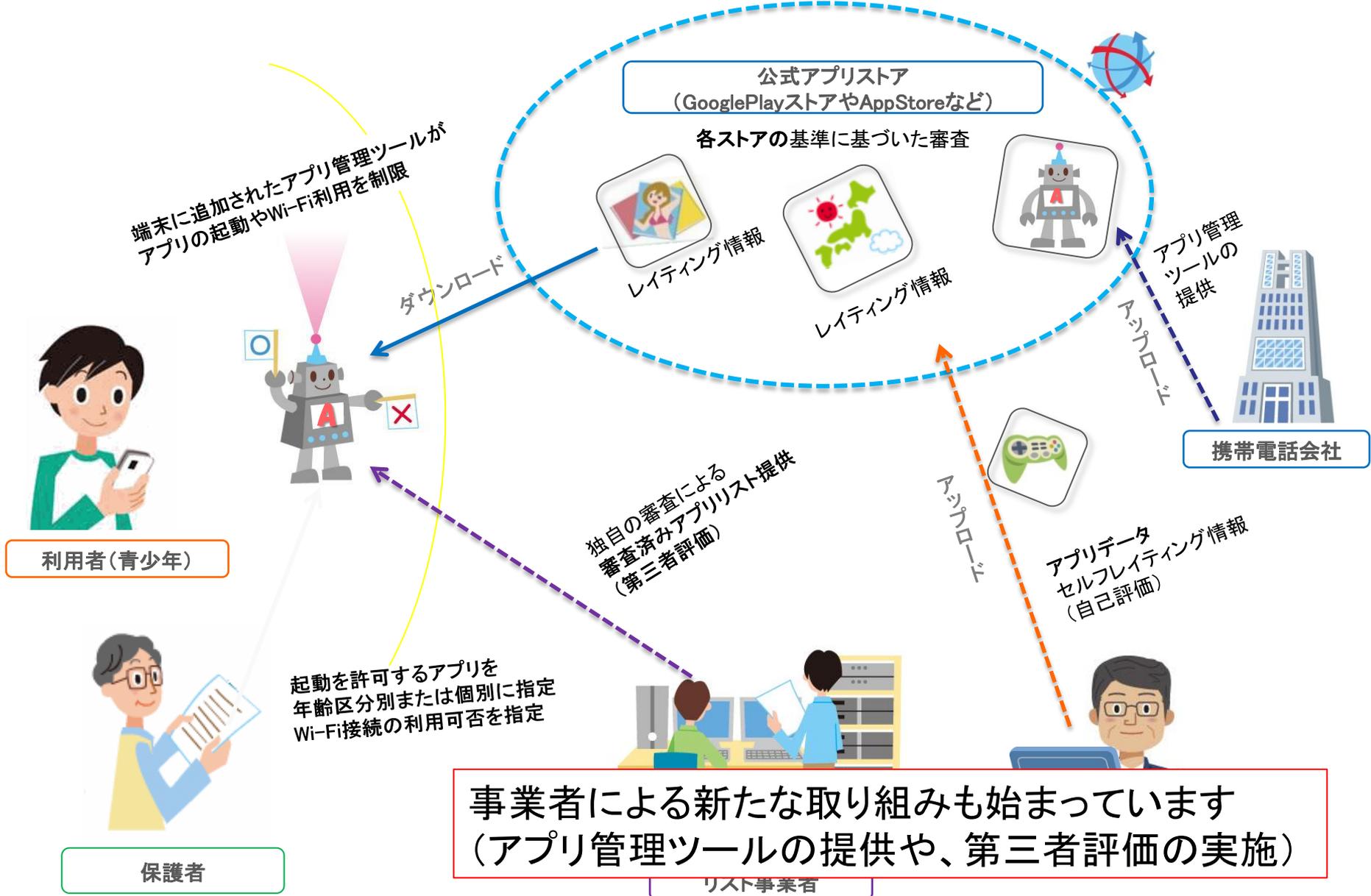
これまでの携帯電話同様にフィルタリングサービスを使って利用させるサービスの
管理と、アプリの購入や利用を許可するアプリの管理も新たに必要です

□ 接続方法の管理

スマートフォンは携帯電話事業者が提供する通信回線以外に、Wi-Fi等の無線LAN
を経由して接続することも可能なため、従来のように携帯電話事業者回線上での、
フィルタリングでは管理しきれません

無線LANの利用を制限するか、無線LANでも制限が可能なフィルタリングサービスを
活用しましょう

4. スマートフォン時代のフィルタリング



「インターネット」の 4つの誤解とネット社会の3原則



こんな「誤解」していませんか？

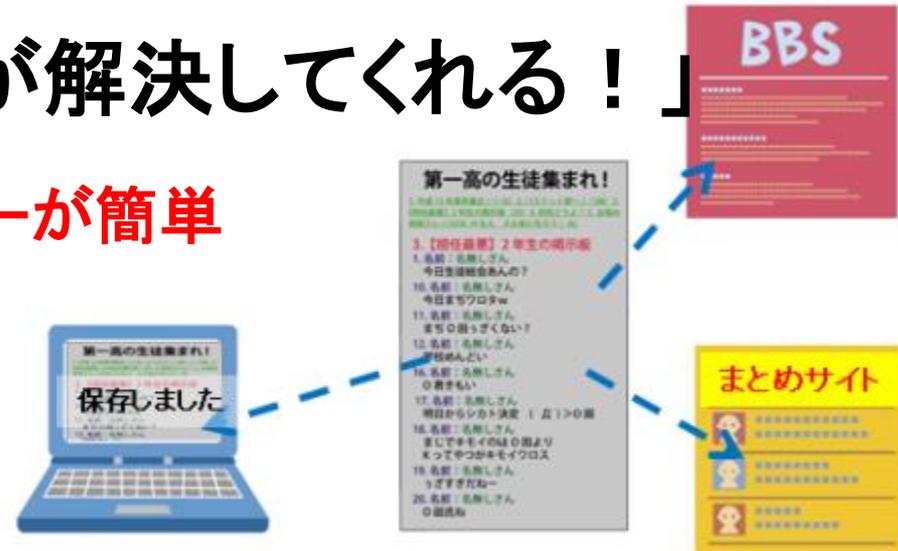
□「大丈夫、知り合いにしか教えてないから！」

インターネットは仲間内の世界ではありません



□「人の噂も75日！ 時間が解決してくれる！」

デジタル情報は劣化せず、コピーが簡単



アナログだった頃は……



紙のサイン帳やプロフィールカード

「相手の顔が**見える**」「**手渡し**で広がる」

5. 「インターネット」の4つの誤解とネット社会の3原則



パソコンやメディア
に保存



インターネット上で公開した情報を
完全に消すことは不可能です

他のサイトや雑誌に転載

こんな「誤解」していませんか？

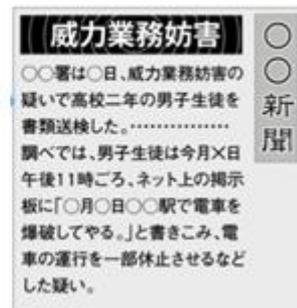
□「ネット上の出来事は、すべて仮想世界の出来事」

インターネットは法の支配も及ぶ現実社会の一部です



□「書いたのは自分だってバレないよ！」

インターネットは現実世界よりも追跡性が高いのです



インターネット社会の「3原則」

- 「“発信の自由”が最大限に尊重されます」
「法に触れない限りは自由」という考え方で発達したメディアです
- 「見る側が情報の真偽を判断しなければいけません」
デマ情報が流通しやすいだけでなく、それぞれの立場から一方的な意見が述べられているケースも
- 「利用者側が自分の身を守らなければいけません」
テレビや雑誌などの従来のメディアと比べ、見たくない情報や不適切なものから身を守るための備えがより必要です



子どもに伝えておきたい対策

- プライバシー情報の書き込みを控えましょう
 - 子どもたちにありがちな「4つの誤解」を解いておきましょう
 - 会員しか利用できないことで、気が緩む場合も
- サイト上でのコミュニケーションに注意しましょう
 - 相手(プロフィール)を簡単に信用してはいけません
 - 個人的なことを安易に伝えてはいけません
- サイトの収益構造について理解しましょう
 - 「無料で楽しめる」理由を子どもに伝えることが大切です
 - 「夢中になる仕組み」への注意喚起も必要です



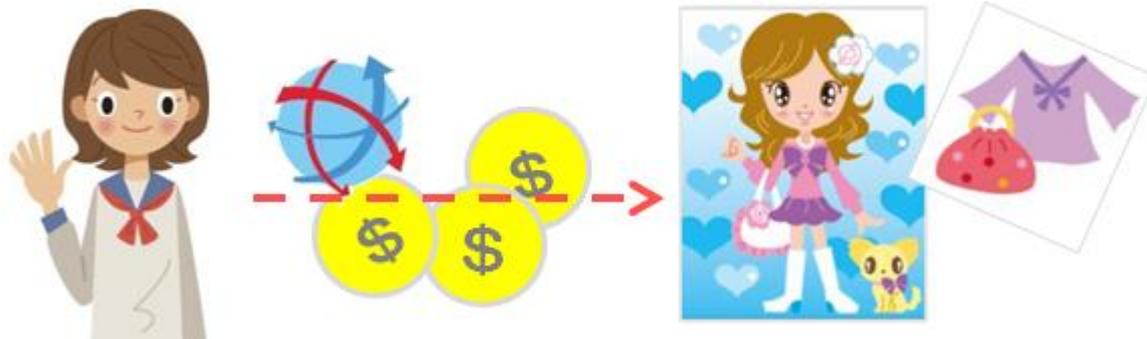
「無料」で楽しめる理由

□ 広告掲載による収入

- 会員数やアクセス総数の多さがカギ

□ 利用者へのデジタルアイテム販売（課金）

- ゲームを有利に進めるためのアイテム購入
- アバター（分身キャラクター）を飾る、「服」や「顔」や「髪型」のパーツ購入



理想的なネットデビューとフィルタリング



6. 理想的なネットデビューとフィルタリング

きちんとした知識や技術を身につけないまま利用すると、未熟な自転車運転と同様、本人や周囲を巻き込む大きな事故につながる可能性がある



インターネットも子どもが身につけた(身につけさせた)能力にあわせて、段階的に利用させることが重要

インターネット利用の開始(解禁)を自転車の練習に例えると.....

6. 理想的なネットデビューとフィルタリング

自転車練習



保護者の見守りの中で、
擦り傷を経験しながら上達



保護者とともに利用開始

制限範囲内での利用

利用解禁

インターネット利用



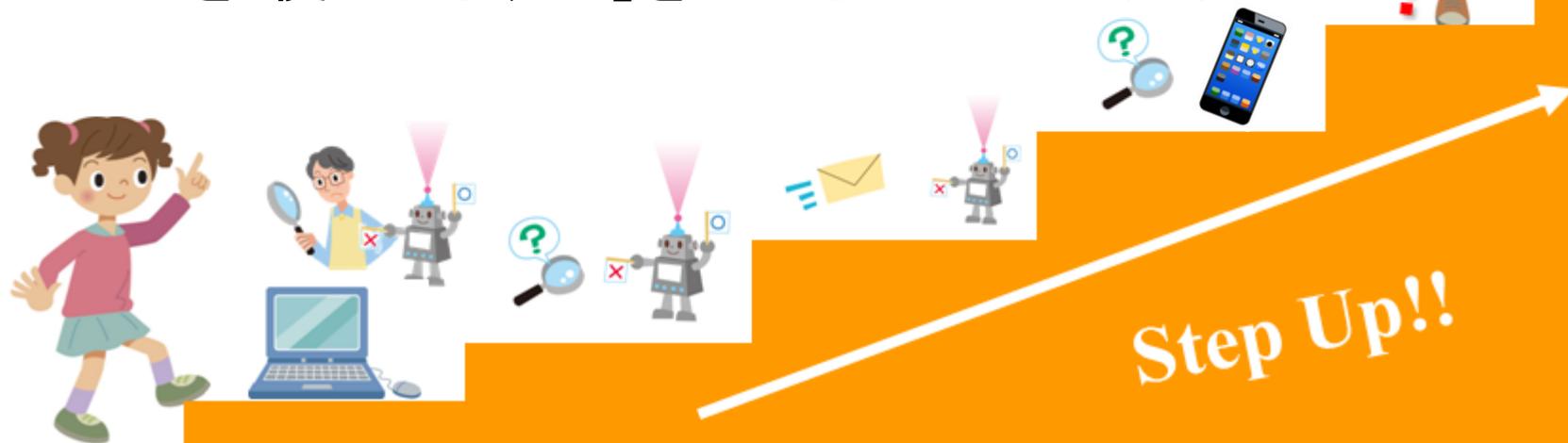
きちんと技術や知識を習得していないと、被害者になるだけでなく、加害者として、周囲を巻き込む大きな事故につながる可能性があります

6. 理想的なネットデビューとフィルタリング

正しい使い方を身につけさせるため
「持たせる」 か 「持たせない」 ではなく

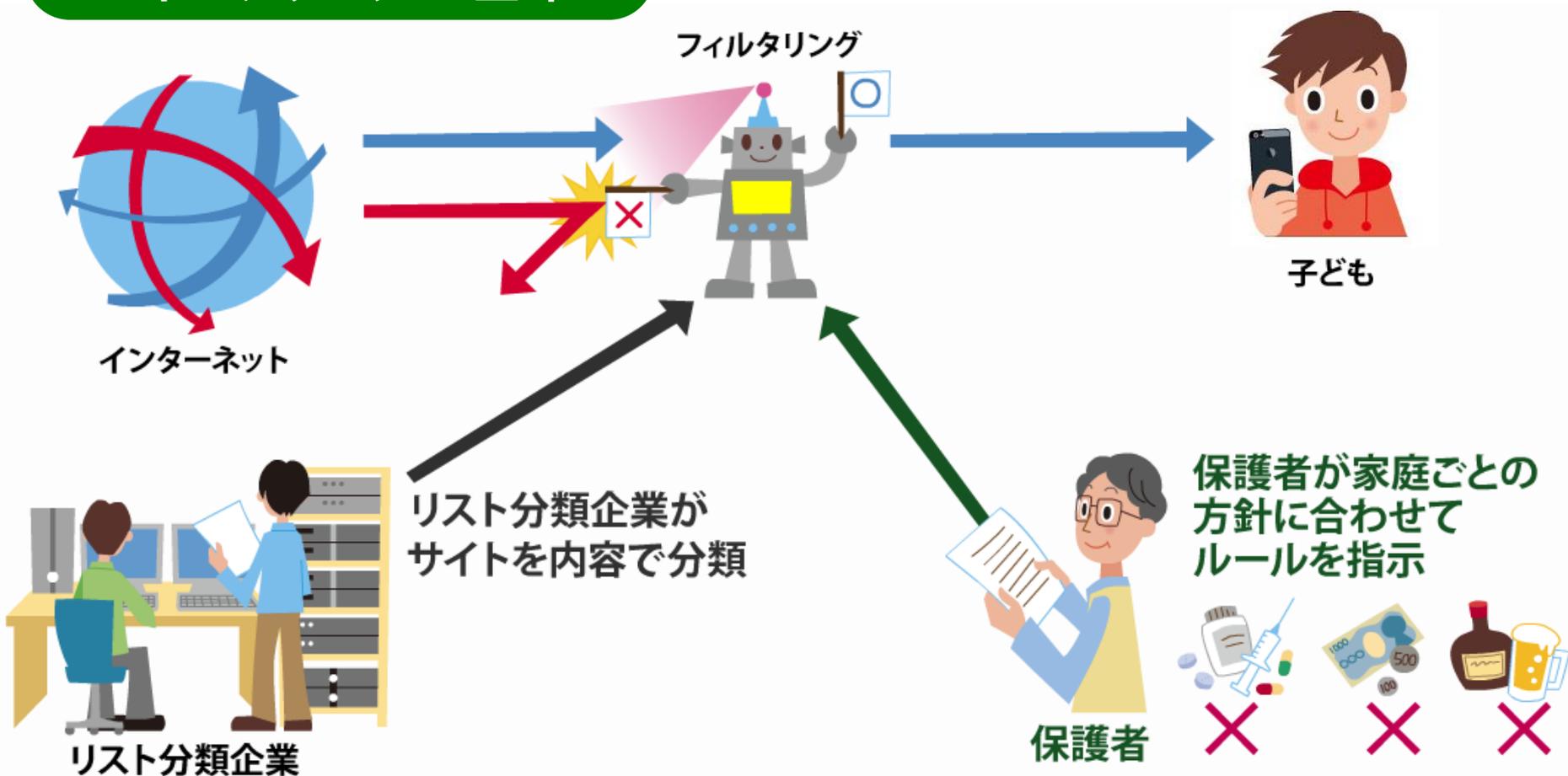


制限サービスを上手に活用し「使ってもよい機能」や
「サイト」で区切りながら、段階的に利用させて
インターネットを「使いこなす力」をつけさせることが大切



6. 理想的なネットデビューとフィルタリング

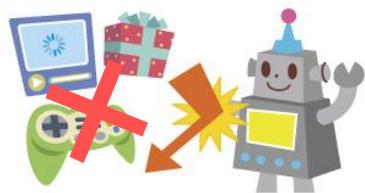
フィルタリングの基本



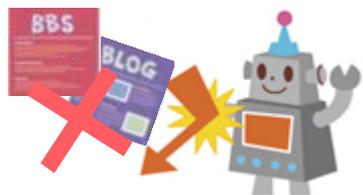
保護者の代わりに、保護者が決めたルールに基づき子どもを見守り、守るのがフィルタリング

6. 理想的なネットデビューとフィルタリング

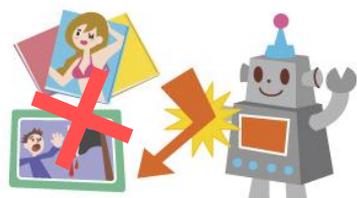
制限できるジャンルの例



熱中・時間浪費の可能性があるサイト
(懸賞・ゲーム・動画など)



コミュニケーションサイト
(チャット、掲示板、ブログ、プロフ、SNSなど)



本来は成人向きであり、知識・経験・判断力を要するサイト
(グラビア・ホラー映画・超常現象・パロディ・極端な主張など)



不適切コンテンツ・サイト
(違法・薬物・自殺・出会い・恐怖・ポルノ・ギャンブル・飲酒・喫煙など)

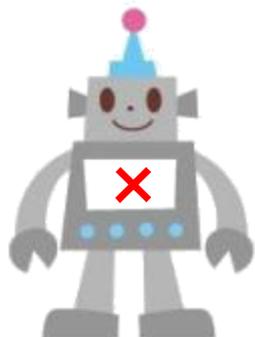
フィルタリング利用方法

□ 制限方式による調整

- ウェブアクセス制限(サイト閲覧はすべて不可)
- ホワイitelist方式(推奨サイトのみ)
- ブラックリスト方式(有害・不適切なサイトは不可)

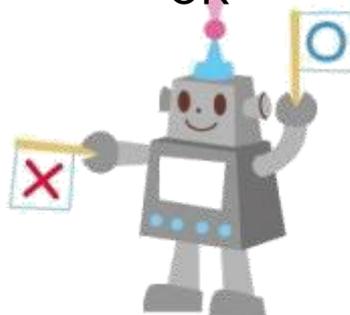


全部NG



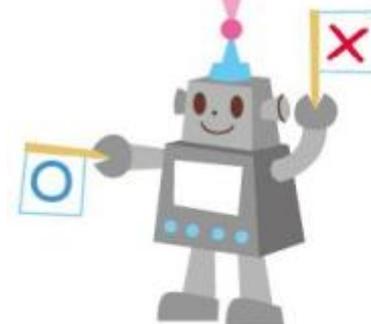
ウェブアクセス制限

推奨サイトのみ
OK



ホワイitelist方式

有害・不適切サイトは
NG



ブラックリスト方式

制限 強



制限 弱

フィルタリング利用方法

□ 用途や年齢、発達に応じた調節

- ジャンル別の規制解除や規制追加が可能
- 特定のサイトやその一部分の閲覧許可や、制限が可能
- 利用者のレベルに応じた制限設定が可能



フィルタリングの理想的な活用

- フィルタリングは厳しい制限でスタートし、成長に合わせて緩めていきましょう
- 子どもの興味関心、用途に合わせた調整が必要です
- 「フィルタリングの利用」はゴールではありません。インターネットを一人で安全に使う能力を子どもが身につけることがゴールです



保護者に期待される役割



7. 保護者に期待される役割

保護者への期待と実態

□期待

- 子どもの発達段階に合わせた利用環境整備
- 日常の見守りと指導



□実態

- 苦手意識
- サービスの変化が激しく理解が難しい
- 指導の仕方がわからない
- 問題や危険性に気づいていない

保護者に出来ること

□子どもの能力発達を見極めましょう

- 一般的なモラルやコミュニケーション能力と、情報技術に関する知識やスキルをそれぞれ身につける必要があります
- 子どもの能力や発達はそれぞれ異なります。学齢などで区切るのではなく、日ごろの子どもの行動、身に付けた判断能力などで判断しましょう



モラル・
コミュニケーション
能力



知識・スキル

「2つの能力」のどちらかが劣っていたり、
欠けているとトラブルを起こすことになります

保護者に出来ること

□ 困ったときに相談できる相手となりましょう

- 小さなトラブルから学べるように、すぐに相談できる関係を維持することが大切です
- 親は「詳しくないから相談できない」と、子どもが一人で悩みを抱えこまないように、日頃からインターネットや携帯電話利用について親子で会話を心がけましょう



7. 保護者に期待される役割

保護者に出来ること

□ インターネット利用環境を整備しましょう

- 子どもの発達段階にふさわしい機器や利用場所、利用機能の選定を行いましょよう
- 安全に利用できるように制限機能（ペアレンタルコントロールなど）や、制限サービス（フィルタリングなど）を活用しましょよう



こんな事に注意しましょう

□ 単なる禁止や取り上げでは子どもは納得しません

- 親子での話し合いが充分に行われないまま、「上から目線」でのお説教、ゲーム機や携帯電話の「取り上げ」を行うことは逆効果です
- 子どもがどんなサービスを使いたいのか、話を聞いてみましょう
時には保護者も一緒に見たり使ってみるなど、理解しようとする姿勢も必要です



こんな事に注意しましょう

□ 放置したり、諦めないことが一番大切です

- 買い与えてしまった後だからと諦めず、必要なルールや注意すべき点を子どもと一緒に考えていきましょう
- リスクの低い利用になるよう、保護者として、子どもの気づきと能力向上を手助けしていきましょう
- 子どもの方が詳しいから大丈夫だろう、うまくやるだろうと「何もしない」ことは危険です
- 保護者の問題の「気づき」について、子どもに率直に伝える事を親子の対話のスタートにすることも有効です

「家庭のルール」を決めましょう

□まずは、子ども自身に考えさせてみましょう

- 保護者の懸念点を、事前に子どもに説明しましょう
- 作成したルールが、保護者の懸念への対策となっているか親子で一緒に確認しましょう

我が家のルール

- 利用時間.....
- 利用場所.....
- 利用目的.....
- 月々の料金.....
-
-



「家庭のルール」を決めましょう

□ 友人や同級生の保護者と情報交換しましょう

- メールや通話の利用時間帯については、片方の家庭だけで決めても守ることが難しいものです。子どもが日ごろよくやり取りする友人の保護者と連携して行きましょう

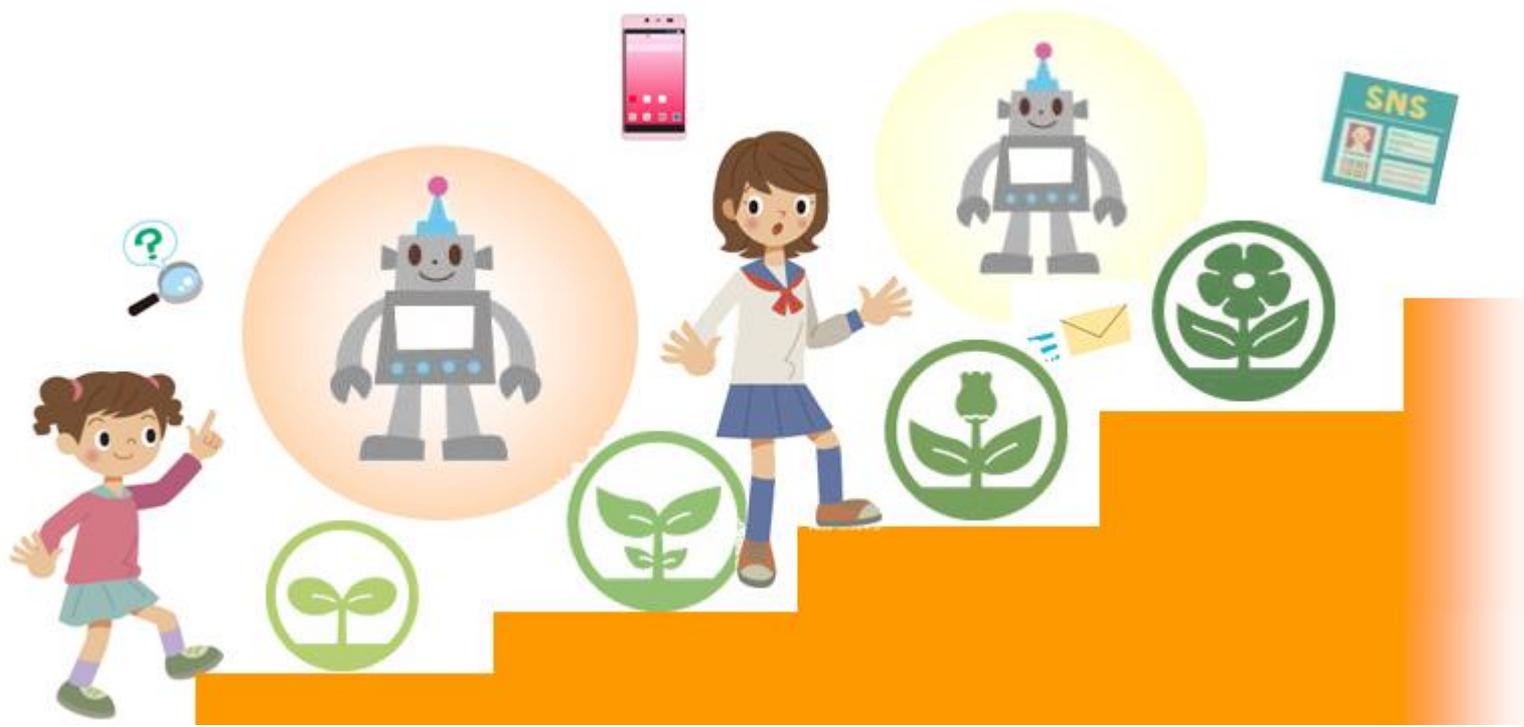


7. 保護者に期待される役割

「家庭のルール」を決めましょう

□ 子どもの成長に合わせて変えていきましょう

- 子どもの能力向上や、必要となる機能に合わせてルールを変更する「基本方針」を、初めに子どもに説明しておきましょう



まとめ



知ることから始めましょう

- 子どもたちのインターネット利用状況や、機器の普及状況を知りましょう
- 学校で決められている「約束事」を確認しましょう
- 子どもたちの興味関心、利用実態を把握しましょう
- 子どもたちが使っている、サービスを見てみましょう
- トラブルや失敗から学べる環境づくりが重要です
保護者間の情報交換を心がけましょう



保護者同士の助け合いも大切です

- 学校・学級や地域で連携したルールづくり、見守り
- きめ細かい実態把握やトラブル対応
- 押し付けにならない「学びあい」「伝えあい」



子どもたちを護り育てる、さまざまな関係者による連携支援も始まっています

子どもだけではなく、
保護者も学び、変わる必要があります。保護者が正しい
知識を持ち、適切に判断し対処することが最も重要です

インターネット特有の問題は少なく、
本質的には子育ての一環です



子どもたちの インターネット利用について考える研究会

<http://www.child-safenet.jp/>

